

事業番号	09 06 02	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域ぐるみで行う農地の保全活動への支援	部局	農政部	課・室	農地整備課	
		実施期間	H19～	E-mail	nochi@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	3-6 中山間地域での暮らしの価値の再発見	6-1 個性豊かな地域づくりの推進				

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 農村地域における過疎化・高齢化や担い手の減少などにより、地域の協働で行われてきた水路、農道など地域資源の保全管理に支障が生じている。
	【目指す姿】 農業者をはじめとする地域住民が取り組む水路の泥上げや農道の路面維持、植栽による景観形成など、農地・農業用施設等の適切な保全管理を支援し、農業・農村が持つ多面的機能を次代に引き継ぐ。
	【実施内容】 多面的機能支払事業 698組織

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度		
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況		前年度繰越	0	0		
1	多面的機能支払事業による活動面積 (ha)	39,542	39,707	↑	39,937	↑		41,480	未達成	現計予算	1,940,289	1,818,824
2										合計(A)	1,940,289	1,818,824
3										うち一般財源	640,329	593,155
4										決算額(B)	1,934,691	1,818,820
									職員数(人)	8.90	8.30	

成果指標設定理由	1 農業農村の多面的機能の維持発揮を目的として、地域の協働で行う地域資源の保全活動等について、多面的機能支払事業による活動面積を成果指標に設定した。
----------	--

達成状況の分析	農業・農村が有する多面的機能の保全に関する研修会については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から分散して(35回)開催したが、事業制度の周知や機運の向上を図ったことにより、39,937haにおいて保全活動が行われた。しかし、地域のリーダーとなる人材不足や新型コロナウイルス感染症の影響により、新たに取り組む組織が予定より減少したため、目標をやや下回った。(達成率96%)
---------	---

主な取組	地域の共同活動への支援 農地等の保全活動、地域資源（農地・水路・農道・ため池等）の質的向上を図る共同活動、施設の長寿命化のための活動を支援しました。（698組織）
	 <p>地域資源の保全活動（ため池堤体の草刈り）</p>  <p>地域住民による景観形成活動（植栽）</p>

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<p>活動の取組・継続に当たって、「集落をまとめるリーダーがない」、「集落全体の合意形成が図れない」等の意見が多いため、活動を担う多様な人材の確保・育成が必要である。</p> <p>活動組織や市町村が行う書類作成等の事務について、負担軽減の要望が多く寄せられている。</p>	<p>市町村が行う新規地域のとりまとめの際に、個別相談等の支援を強化するとともに、継続組織に対しては、国が行うリーダー研修会への参加を促すなど、指導者の育成と安定した組織体制づくりを支援する。</p> <p>活動組織及び市町村の事務負担軽減を図るため、活動組織の広域化や外部団体等への事務委託を促進するとともに、パソコンを活用した事務処理ソフトに関する研修会を開催する。</p>